

- 滋賀県・大津市に関するご質問、ご意見をお寄せください!
- 活動や報告についてのご意見、ご感想をお待ちしております。
- 成田セイリュウ後援会に入会いただくと、定期的に県議会活動レポートを送付いたします。ぜひともご参加ください。
- ボランティアスタッフを募集しております。



PROFILE

唐崎中、膳所高、龍谷大学法学部政治学科 卒業
同志社大学大学院総合政策科学研究科 修士
民主党滋賀県支部連合会 青年局長
滋賀県議会議員(大津市選挙区)1期

大津市消防団唐崎分団団員
唐崎学区体育振興会 常任理事
唐崎学区スポーツ少年団 事務局
大津こども環境探偵団エコーダー 幹事

社団法人大津青年会議所 事務局
滋賀県トランポリン協会 会長
スペシャルオリンピックス日本
滋賀設立準備委員会 事務局

日頃より、皆様の温かいご支援を賜り、感謝申し上げます。昨年は政権交代が成し遂げられ、民主党・鳩山内閣が誕生し、川端達夫衆議院議員が文部科学大臣に就任されました。

私たち、滋賀県議会も、民主党県民ネットワークも、国政と連携を取りながら、「コンクリート」から「ヒト」への公的投資の推進を行い、生活者の視点に立った政治を目指してまいります。

滋賀県財政が厳しい中ではございますが、自身の政治活動のテーマであります「環境」「教育」「防災」の課題に精一杯取り組み、県民の安心・安全の為に、また未来に笑顔あふれる滋賀を築くために、粉骨砕身努力していきます。

本年も皆様方のご指導・鞭撻を宜しくお願ひ申し上げます。

成田政隆

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

防災教育について

学校の耐震化について

成田 県立学校の耐震化の見込みと市町の小学校の状況は?
教育長 県立学校の耐震化率は約69%、特別支援学校は工事を完了している。平成29年度末の事業完了に向け、努力していく。また市町立小中学校の耐震化率は今年度当初の耐震化率は78.5%。今年度16市町73校において耐震化事業が実施。

防災教育の現状

成田 防災教育の目的は、「学校や地域をはじめ、様々な機会・場を活用し、①それぞれが暮らす地域の災害や社会の特性、防災科学技術の知見等についての知識を身につけ、防災・減災のために事前に備え、行動する能力」②「自然災害から身を守り、被災した場合でもその後の生活を乗り切る能力」③「災害からの復興を成し遂げ、安全・安心な社会に立て直す能力」④「進んで他の人々や地域の安全を支える能力」の4つの能力を身につけ、「生きる力」を涵養し、能動的に防災に取り組むことができる人材を育てることですが、滋賀県の防災教育の現状は?
教育長 子どもたちが自然災害時の対応を身につけ、危険から自分の身を守り、被害を最小限にとどめることを目的とし、災害時の心構えや行動、地震等の発生メカニズムなどについて、児童生徒等の発達段階に応じた指導を行っている。

救命救急研修について

成田 埼玉県の「中学生向けの危機管理・防災に関する教材」では、心肺蘇生法を身につける項目があるが、心肺蘇生法やAEDの使用に関する研修を中高生に必須としてはどうか?
教育長 心肺蘇生法については保健体育の教科の中で、指導しており、その中で、AEDに触れる機会を持ち、利用方法を理解するなどの指導も行っている。

災害復興時における子どもたちへの期待

成田 阪神・淡路大震災、新潟中越地震において、救援物資の配布の手助け、プラスバンドの演奏等による被災者への癒し、様々な活躍があり、困っている人をどう助けるかを考え、行動することにより、地域の復興が加速し、自立の向けての原動力になるといえますが、災害復興時において子どもたちに、どのように期待をしているのか?
教育長 子どもたちが本来持っている優しさや明るさが、被災者をたいへん勇気づけ、地域の復興の大きな力となったと聞いている。万が一の災害時には、自ら行動し、人を思いやり、互いに助け合えるような子どもに育ててくれることを願っている。



防災・安全・復興に関する国際シンポジウム(新潟)



近畿6府県議員交流フォーラム 防災分科会(奈良)



総務・政策常任委員会県外調査(静岡)

子ども・若者施策について

淡海子ども・若者プランについて

成田 淡海子ども・若者プランにより、子ども・若者の社会環境がどのように変化するのか、計画の意義については?
知事 地域のひとと人のつながりや「きずな」を新しい地域の力として、社会全体で子ども・若者の健やかな育ちに関わり、支える環境を整えていこうとするもの。子ども・若者は、自ら力を十分に発揮しながら、未来に夢を持って自立への道を着実に歩むことができ、また、親は、仕事と家庭・地域生活の両立など、多様な生き方が受け入れられ、子育てに幸せを感じることができ、社会にとっては、子ども・若者の育成を通じて、地域に明るさと喜びがもたらされ、滋賀の将来の新たな活力が生み出される。

ニート対策について

成田 若者無業者(ニート)の滋賀県内の状況と、ヤングジョブセンター滋賀の活用も含めた対応は?
商工観光労働部長 平成19年において、全国では約63.3万人(2.1%)、本県では約6300人(1.8%)と推計されている。ニートへの対応として、地域若者サポートステーション事業により、ニート本人、あるいはその保護者への相談支援を行っており、その相談内容に応じて、ヤングジョブセンター滋賀において、職業相談・職業紹介や、職業訓練の受講手続き等を行い、さらに、職業の適性、就職活動の仕方といった就労の初期段階からの個別カウンセリングやまた心の相談等、きめ細かな相談支援も実施している。

子ども・若者支援地域協議会について

成田 子ども・若者支援地域協議会では、修学および就業のいずれもしない子ども・若者その他の子ども・若者であって、社会生活を円滑に営む上で困難を有するものの対応に関して、関係機関が密接的に連携して総合的に対処する必要があるものを扱うものとしています。複雑多様化した、ニート・ひきこもり等に対して、各関係機関が連携してスムーズに支援していく必要があると考えるが?
知事 県では、非行少年等の立ち直りを支援するため、県内9カ所の少年センターに、「青少年立ち直り支援センターあすくろ」を設置し、総合的な相談や支援に先駆的に取り組んできた。「あすくろ」では、ニートや不登校、ひきこもりなどの青少年にも幅広く対応してきて、一人ひとりの課題に応じて、就学、就労、生活改善などの個別支援プログラムを組み、学校、ハローワーク、福祉事務所などの関係機関と連携しながら支援している。国の動向などを踏まえながら、法の趣旨に沿った取り組みとなるよう進めてまいります。



11月定例会

淡海子ども・若者プラン
みなさまの声を計画に反映してみませんか!
1月28日締切
県民政策コメント募集中!
滋賀県ホームページ
<http://www.pref.shiga.jp/>



ドットジェイビー議員 インターン交流会



びわ湖環境ビジネスメッセ



会派県内調査 県立社会福祉施設(信楽学園)



琵琶湖淀川水系問題対策特別委員会 県外調査(熊本・川辺川ダム予定地)



唐崎学区防火・防災訓練

成田セイリュウ 活動アルバム



自治体政策青年ネットワーク研修会 江田参議院議長と懇談



スポレク宮崎トランポリン大会 1勝2敗で予選リーグ敗退...



あいの土山マラソン ハーフマラソンに出場!